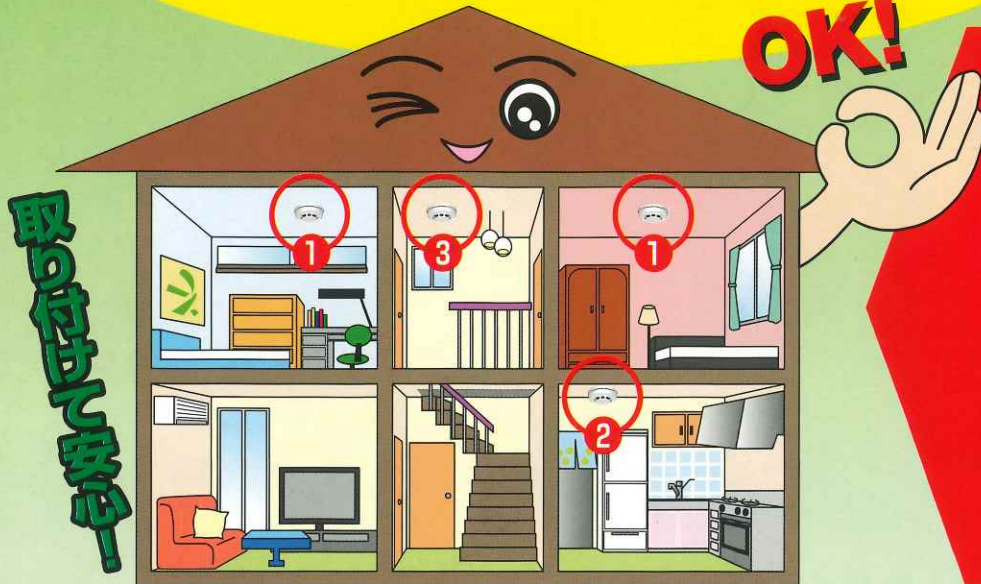


必要な場所に付いていますか？

住宅用火災警報器

火災からあなたと家族を守ります！



設置が必要な場所

- ① 寝室
- ② 台所
- ③ 階段※

※2階以上に寝室がある場合

●消防法と火災予防条例により、すべての住宅に設置が義務付けられています。

住宅用火災警報器は本当に効果があるの？

住宅用火災警報器は煙や熱に反応するため、火災を早期に発見することが出来ます。

火災警報器により、火災を未然に防いだ、あるいは大事に至らなかった事例が、**毎年50件以上**報告されています。

具体的な事例

鍋をこんろの火にかけた状態で寝入ってしまったが、火災警報器の警報音で近所の人気がついて119番通報。駆けつけた消防隊が煙の中の住民を助けるとともに、火災も未然に防ぐことができた。



想像以上に速い火と煙。「寝室」、「階段」への設置がポイント。

過去に行われた実験では、6畳間が全焼するのに**わずか5分**。

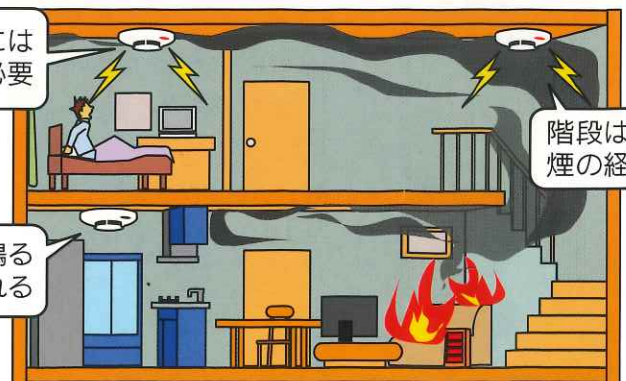
また、煙の速度は上方向へ1秒間に**3m～5m**（横方向は0.5m～1m）という速さ。

就寝時に逃げ遅れないようにするためには、「寝室」「階段」への取り付けが大変重要です。

目覚めるには各寝室に必要

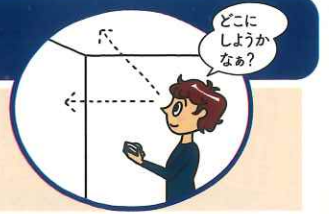
台所は鳴るのが遅れる

階段は煙の経路



住宅用火災警報器の取り付け方の例

住宅用火災警報器は、天井又は壁のどちらかに取り付けます。
(詳しくは、各機器の取扱説明書をご確認ください。)

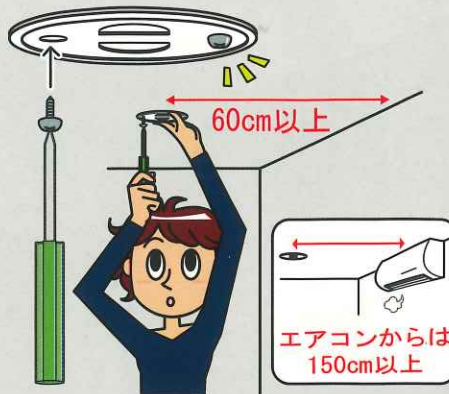


●天井に取り付ける場合



そもそも、どこで購入するの?

家電量販店・ホームセンター・
電気店などで購入することができます。



●壁に取り付ける場合



煙も無いのに鳴り出したら、交換のサイン!?



住宅用火災警報器は、電池が切れそうになると
72時間の間、音や点滅で「電池切れ」を教えて
くれます。
取り外して、新しい機器と交換しましょう。※
(取り外し方は上図と逆の手順)

交換の際に、まだ
取り付けてない場
所があれば、一緒
に取り付けるよう
にしましょう。



※乾電池式など電池交換が可能な機種は、電池を交換してください。ただし、古くなった住宅用火災警報器は電子部品の劣化などにより、火災を有効に感知しなくなることがあります。そのため、電池交換が可能な機種も、**取り付けからおおむね10年を目安に、機器ごと交換**することを推奨しています。